

# \*\*\*\*\* 新しい3ポリシー \*\*\*\*\*

## ■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### ディプロマ・ポリシー 全学

神戸国際大学では、建学の精神「神を畏れ、人を恐れず、人に仕えよ」に則り、生命の尊厳を理解し、豊かな人間性と社会性を体得し、大学が定める教育目標である「生き抜く力」を育成します。

「生き抜く力」とは、変動が激しくかつ多様化するグローバル社会で活躍し、貢献できる人材に求められる資質であり、具体的には次の5つの力を意味します。

#### 「人間力」

生命を尊重する豊かな人間性を体得している

#### 「学力」

幅広い教養を身につけ、専門知識を活用できる

#### 「実行力」

身の周りや社会で生じる様々な問題を積極的な行動を通して解決することができる

#### 「発信力」

多様な人々に自分の考えを伝え、共感と相互理解を深めることができる

#### 「協働力」

多様な人々との共感と協調のもとに協力して歩むことができる

各学部では重点化されたディプロマ・ポリシーに沿って設定されたカリキュラムを履修し、学部規程に定める卒業要件を満たした学生に対し学士の学位を授与します。

### ディプロマ・ポリシー 経済学部

経済学部は建学の精神を基本理念として、経済学を基礎とする多様な知識をもち、グローバルな視野と人間性を備え、競争社会で「生き抜く力」を身につけ社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とします。

この教育目標を踏まえて編成された学部・学科の教育課程を通じて、本学部が定める卒業要件を満たした学生に対して学士の学位を授与します。

## 経済経営学科

経済経営学科は建学の精神を基本理念として、経済経営に対する多様な知識をもち、グローバルな視野と人間性を備えた、競争社会で「生き抜く力」を身につけ、社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とします。

この教育目標を踏まえて編成された学部・学科の教育課程を通じて、本学部が定める卒業要件を満たし、知識や技能を備えた学生に対して学士の学位を授与します。

### 学力（基礎学力と応用力）

1. 豊かな社会生活を支える総合的な教養を修得している
2. 経済経営の基礎および専門知識を修得している
3. 経済経営の理論と応用を活用し、社会で生じる事象を的確に判断し対応できる

### 実行力（リーダーシップ力と革新力）

1. 他者と協調して社会が抱える課題解決できる
2. 多様な価値観をもつ人々を理解し、合意形成を図ることができる
3. 新たな活動の場を切り拓くことができる

### 発信力（コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力）

1. 多様な知見を活用し、独創的な提案ができる
2. 経済経営の見地から自分の考えを発言し伝達できる
3. グローバル経済の視点から発想し、多様な人々と共感できる

## 国際文化ビジネス・観光学科

国際文化ビジネス・観光学科は建学の精神を基本理念として、経済学の知識を基礎とする国際社会に対する多様な知識をもち、グローバルな視野と人間性を備えた、競争社会で「生き抜く力」を身につけ国際社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とします。

この教育目標を踏まえて編成された学部・学科の教育課程を通じて、本学部が定める卒業要件を満たし、知識や技能を備えた学生に対して学士の学位を授与します。

### 学力（基礎学力と応用力）

1. 豊かな社会生活を支える総合的な教養を修得している
2. 経済学・国際文化ビジネス・観光学の基礎および専門知識を修得している
3. 国際文化ビジネス・観光学の理論や応用を活用し、社会で生じる事象を的確に判断し対応できる

実行力（リーダーシップ力と革新力）

1. 他者と協調して社会が抱える課題解決できる
2. 多様な価値観をもつ人々を理解し、合意形成が図ることができる
3. 新たな活動の場を切り拓くことができる

発信力（コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力）

1. 多様な知見を活用し、独創的な提案ができる
2. 国際文化ビジネス・観光学の見地から自分の考えを提案することができる
3. グローバルな視点から発想し、多様な人々共感できる

## ディプロマ・ポリシー リハビリテーション学部理学療法学科

リハビリテーション学部理学療法学科は建学の精神を基本理念として、リハビリテーションの中核的な担い手となる高い専門知識と、技術および豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成することを教育目標とします。

この教育目標を踏まえて編成された学部・学科の教育課程を通じて、本学部が定める卒業要件を満たし、知識や技能を備えた学生に対して学士の学位を授与します。

人間力（生命の尊重と豊かな人間性）

1. 生命の尊厳を理解し、医療専門職としての倫理観を修得している
2. 全人的な医療を行うための豊かな人間性と社会性を有している
3. 対象者や社会のニーズに応じ意欲的かつ柔軟に対応ができる

学力（基礎学力と応用力）

1. 豊かな教養を備え、生涯にわたり学ぶ姿勢を身につけている
2. 医療専門職として専門的な基礎知識および技術を修得している
3. 医療専門職としての観点から、社会で生じる事象を的確に判断し対応できる

協働力（コミュニケーション能力と協調力）

1. チーム医療を理解して多職種と協働し、その中核として他分野との連携・調整を図ることができる
2. すべての人が参画できる社会を実現するため、保健・医療・福祉にわたる提案ができる
3. 国際的感性と視野を持ち、支援活動などの国際協力に貢献する能力を持っている

## ■教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

### カリキュラム・ポリシー 全学

学部・学科のディプロマ・ポリシーを達成するために必要なカリキュラムを、以下に示す教育内容・教育方法・学修成績評価の観点から学部・学科毎に個別に編成します。

#### 1. 教育内容

専門職業人として必要な知識や技能を修得するために、教養教育と専門教育及び国際性を育む授業科目を体系的に配置します。

#### 2. 教育方法

授業科目の特性に応じて、教育方法（講義、演習、実習）を適切に組み合わせます。

#### 3. 学修成績評価

示された達成目標に対する到達度に基づいて、公平で透明な学修成績評価を行います。

### カリキュラム・ポリシー 経済学部

経済学部では、教養教育と専門教育の履修を通じて、「学力」、「実行力」、「発信力」を修得させるというディプロマ・ポリシーを掲げています。とりわけ、少人数教育である演習科目や共通基盤科目、学科科目を通じ、きめの細かい教育を重視しています。このような方針に従って、学科別・学年別に履修すべき教育内容を以下の通りに定めます。

#### 経済経営学科

##### <教育内容>

- ・1～2年次に、幅広い教養を身につける「教養科目」と経済学の基礎を履修させます。
- ・1年次では、高校教育から大学教育へ円滑に移行できるように、「基礎演習」を履修させます。そこでは、大学での学び方と考える力を身につけます。
- ・1年次に、経済学の考え方や基礎知識を修得できるように、「基礎経済」を履修させます。そこでは、経済学の面白さやそれを学ぶ意義について学習します。
- ・2年次は、経済学・経営学の専門基礎知識を広く修得できるように、「共通基盤科目」を履修させます。そこでは、当該分野を専門としない学生でも他の専門基礎を体系だっで学習できます。
- ・入門科目・共通基盤科目について「選択必修制度」が定められ、広い分野の科目を体系だっで学習できるように、入門科目、共通基盤科目をそれぞれ4群（経済・経営・国

際文化ビジネス・観光)の中から、所定の単位以上を履修させます。

- ・入門科目・共通基盤科目を修めた2年次後期以降の学生は、経済学・経営学の専門分野を重点的に修得できるように、「専門科目」を履修させます。そこでは、当該分野の専門知識を深めるために体系立った学習ができます。
- ・3年次から3つのコースを設定し「専門演習」を履修させます。専門演習では特定のテーマで指導を受け、学生自身による主体的学習に基づく報告発表と学生相互の討論を通じ、創造性やプレゼンテーション能力を身につけます。
- ・4年次の専門演習では活動成果を「卒業論文」として提出できます。
- ・キャリア教育科目を1年次から3年次まで設置します。1年次では、将来の仕事への意識付けと就職を希望する業界について、2年次では、アーリーインターンシップを通して企業での働き方を、3年次では、就職を想定したインターンシップを通して仕事の取り組み姿勢を学びます。
- ・履修コースモデルを用意し、コースツリーを明示することによって系統的な履修が可能になります。一定の条件を満たした学生を当該コースの修了者と認定します。

#### <教育方法>

- (1) 演習科目を中心に、少人数の共通教育科目や学科科目、語学科目では、グループディスカッション、ディベート、グループワーク等のアクティブラーニング(AL)を積極的に実施します。
- (2) 教室での学修に加えて、地域社会や地域企業と連携し、自ら問題を発見し、問題解決する能力を身につけるプロジェクトベースドラーニング(PBL)を実施します。
- (3) 今現在社会生活で生じている問題や現象、例えば、SDGs、IT、AI、防災・減災等に関して、学外の企業や専門家を招へいし、生きた経済学を学習します。
- (4) すべての授業にグローバルな視点を取り入れます。

#### <学修成績評価>

- (1) 学期末試験だけでなく、その他の学習成果(平常の授業における取り組み、レポート、フィールドワークへの参加、プレゼンテーション能力などを含む多様な能力)を合わせて評価をします。
- (2) 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックを行います。
- (3) 学生が上記カリキュラムを履修していく上で、1年間に履修科目として登録できる単位数の上限を48単位に定めます。

※なお、各科目の学習成果の評価方法は、シラバスにおいて科目ごとに明示されています。

## 国際文化ビジネス・観光学科

### <教育内容>

- ・1～2年次に、幅広い教養を身につける「教養科目」と経済学の基礎を履修させます。
- ・1年次では、高校教育から大学教育へ円滑に移行できるように、「基礎演習」を履修させます。そこでは、大学での学び方と基本的な考える方法を学習します。
- ・1年次に、経済学の考え方や基礎知識を修得できるように、「基礎経済」を履修させます。そこでは、経済学の面白さやそれを学ぶ意義について学習します。
- ・2年次は、国際文化ビジネスや観光学の専門基礎知識を広く修得できるように、「共通基盤科目」を履修させます。そこでは、当該分野を専門としない学生でも他の専門基礎を体系だって学習することができます。
- ・入門科目・共通基盤科目について「選択必修制度」が定められ、広い分野の科目を体系だって学習できるように、入門科目、共通基盤科目をそれぞれ4群（経済・経営・国際文化ビジネス・観光）の中から、所定の単位以上を履修させます。
- ・入門科目・共通基盤科目を修めた2年次後期以降の学生は、国際文化ビジネスや観光学の専門分野を重点的に修得できるように、「専門科目」を履修させます。そこでは、当該分野の専門知識を深めるために体系だった学習ができます。
- ・3年次から2つのコースを設定し「専門演習」を履修させます。専門演習では特定のテーマで指導を受け、学生自身による主体的学習に基づく報告発表と学生相互の討論を通じ、創造性やプレゼンテーション能力を身につけます。
- ・4年次の専門演習では、活動成果を「卒業論文」として提出します。
- ・キャリア教育科目を1年次から3年次まで設置します。1年次では、将来の仕事への意識付けと就職を希望する業界について、2年次では、アーリーインターンシップを通して企業での働き方を、3年次では、就職を想定したインターンシップを通して仕事の取り組み姿勢を学びます。
- ・履修コースモデルを用意し、コースツリーを明示することによって系統的な履修が可能になります。また、一定の条件を満たした学生を当該コースの修了者と認定します。

### <教育方法>

- (1) 演習科目を中心に、少人数の共通教育科目や学科科目、語学科目では、グループディスカッション、ディベート、グループワーク等のアクティブラーニング（AL）を積極的に実施します。
- (2) 教室での学修に加えて、地域社会や地域企業と連携し、自ら問題を発見し、問題解決する能力を身につけるプロジェクトベースドラーニング（PBL）を実施します。
- (3) 今現在社会生活で生じている問題や現象、例えば、SDGs、IT、AI、防災・減災等に関して、学外の企業や専門家を招へいし、生きた経済学を学習します。
- (4) すべての授業にグローバルな視点を取り入れます。

#### <学修成績評価>

- (1) 学期末試験だけでなく、その他の学習成果(平常の授業における取り組み、レポート、フィールドワークへの参加、プレゼンテーション能力などを含む多様な能力)を合わせて評価をします。
- (2) 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックを行います。
- (3) 学生が上記カリキュラムを履修していく上で、1年間に履修科目として登録できる単位数の上限を48単位に定めます。

※なお、各科目の学習成果の評価方法は、シラバスにおいて科目ごとに明示されています。

### カリキュラム・ポリシー リハビリテーション学部 理学療法学科

リハビリテーション学部理学療法学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる「人間力」「学力」「協働力」を修得させるために、教養科目・専門基礎科目・専門科目を体系的に編成します。また学んだ知識を活かした資格を取得することを支援します。

#### <学年別教育内容>

##### 1年次

- ・人文・社会・自然科学分野にわたる「教養科目」を履修させ、生命の尊厳を理解し豊かな人間性を持つ理学療法士となるための素地を涵養します。
- ・外国語科目、医学英語教育、海外語学研修、海外施設研修を通して、国際的な視野とコミュニケーション能力を培います。
- ・医療専門職に不可欠な「専門基礎科目」である「基礎医学」を1年次前期から配し、正常な人体の構造と機能および心身の発達について早期に修得させます。
- ・理学療法士の役割や仕事を理解するために、理学療法学概論演習(施設見学実習)を体験させます。

##### 2年次

- ・「基礎医学」科目について、実習を通して理解を深めます。
- ・疾病と障害の成り立ちおよびその回復過程について学ぶ「専門基礎科目」である「臨床医学」科目を設置します。
- ・「専門科目」である「評価学」・「治療学」など理学療法士の基盤となる学びを経て、臨床実習により検査・測定技術の修得を目指します。

##### 3年次

- ・リハビリテーション科学の専門分化に対応した知識の獲得のために「専門科目」を配置します。
- ・これまでに学んだ知識と技能の統合を図るために臨床実習を実施します。
- ・保健・福祉など理学療法に関わる分野を俯瞰できる力を育みます。

#### 4年次

- ・実際の医療現場においてチームの一員として協働し、自律的に問題解決能力を身につけることのできる参加型実習を行います。
- ・授業や臨床実習で関心を抱いた科学的もしくは実践的課題について「卒業研究」で取り組み、論理的思考と創造的探究心を養います。

#### <教育方法>

- (1) 少人数学生間でのグループワークを積極的に取り入れ、専門的な学修指導とともに生活・進路に関する助言を行います。アクティブラーニング(AL)を中心とした教育方法を用い、知識の修得とともにコミュニケーション能力の向上、他者とのかかわりから生まれる共感力などを錬成します。
- (2) 接遇マナー講座・防災意識を高める競技会や研修会・学外でのボランティア活動等を行い医療専門職として不可欠な社会性を高めます。
- (3) 学外での臨床実習前に、実技試験・筆記試験を実施して知識の確認を行います。また実習後には、学内で報告会を行い、実習で得た知識を整理し、解決すべき自己課題を認識し、次のステップにつなげます。
- (4) 医療専門職としての土台となる基礎医学の修得については、模擬試験を通して到達度を計り、習熟度に応じて丹念に指導をします。また、4年次後期には理学療法士国家試験の合格に向け、集中的な対策プログラムを実施します。

#### <学修成績評価>

- (1) 学期末試験だけでなく、その他の学習成果(平常の授業における取り組み、レポート、フィールドワークへの参加、プレゼンテーション能力などを含む多様な能力)を合わせて評価をします。
- (2) 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックを行い、学生の理解度の向上と知識の定着を図ります。
- (3) 学外での実習科目については、実習の評定のほか、学内での事前試験や報告会の内容などを総合的に評価します。



## ■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### アドミッション・ポリシー 全学

本学は建学の精神「神を畏れ、人を恐れず、人に仕えよ」を基本理念としたうえで、「生き抜く力」を備えた人材を育成することを教育目標とします。この教育目標に共感し、本学で学ぼうとする高い意欲を持つ人、将来グローバル社会に貢献する明確な意思を持つ人、そして国、地域を問わず異なる価値観をもつ人々と共感し協働できる人の入学を歓迎します。

### アドミッション・ポリシー 経済学部

本学部ディプロマ・ポリシーに掲げる教育目標に基づき、経済学を基礎とする多様な知識をもち、グローバルな視野と人間性を備え、競争社会で「生き抜く力」を身につけ社会に貢献できる人材を育成するために以下のような人の入学を望みます。

#### 経済経営学科

1. 経済学部で学ぶために必要な基礎学力を身につけている
2. 経済学をはじめとする専門知識・理論を修得し、学内外のいずれでも自ら主体的に学ぼうとする意欲がある
3. 多様な人々の価値観を理解し、様々な活動を協働して推進する意欲がある
4. 高等学校等で課外活動やボランティア活動を通して、チームワークを発揮し、行動力や主体性をもって課題をやり遂げた経験がある

#### 国際文化ビジネス・観光学科

1. 経済学部で学ぶために必要な基礎学力を身につけている
2. 観光プロデュース、ファッション・ビジネス、生活デザイン、国際コミュニケーション・エアラインの分野に興味があり、将来、グローバル社会で活躍するために必要な能力を修得する意欲がある
3. 多様な人々の価値観を理解し、様々な活動を協働して推進する意欲がある
4. 高等学校等で課外活動やボランティア活動を通して、チームワークを発揮し、行動力や主体性をもって課題をやり遂げた経験がある

## アドミッション・ポリシー リハビリテーション学部

本学部ディプロマ・ポリシーに掲げる教育目標に基づき、リハビリテーションの中核的な担い手となる高い専門的知識と技術および、豊かな教養を修得しようとする高い意識と人間性を持つ有能な人材を育成するために以下のような人の入学を望みます。

### 理学療法学科

1. リハビリテーション学部で学ぶために必要な基礎学力を身につけている
2. 理学療法を通して人の役に立ちたいという意思を持ち、人に対する思いやりを適切に表出できる
3. 高い目的意識と学問への探究心を持ち、理学療法士としての専門知識と技術の修得に積極的に取り組める
4. 保健・医療・福祉分野のさまざまなニーズに対応するために様々な分野の人と協働し、問題解決に取り組む意欲がある
5. 高等学校等で課外活動やボランティア活動を通して、チームワークを発揮し、行動力や主体性をもって課題をやり遂げた経験がある